

南三陸町

# 町で働く人を増やすための 提案書

平成27年1月



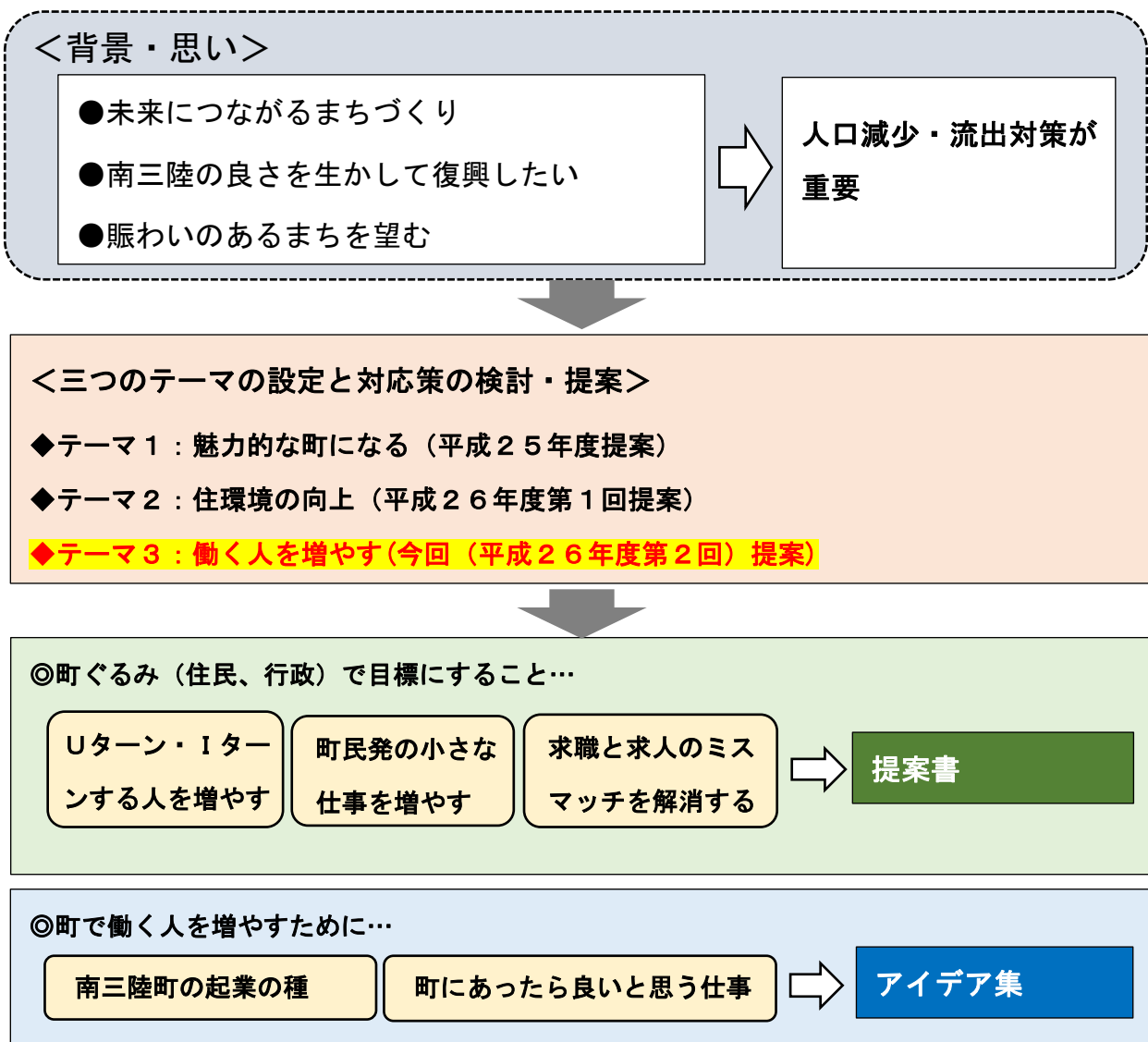
南三陸町復興計画推進会議

## 《 背景 》

■復興計画推進会議では、人口減少・流出が町の復興に大きな課題となるという認識から、その対策として、三つのテーマを選び検討し、平成25年度は「魅力的な町になる」、平成26年度の前半には「住環境の向上」を町に提案しました。

今回は、三つ目のテーマとして「働く人を増やす」対策を提案します。そのためには、町民と行政が一丸となり、**町内在住者に限らず、Uターン・Iターンする人を増やしていくことや町民発の小さな仕事を増やすこと、求職と求人のミスマッチを解消することが目標となる**と考え、提案書にまとめました。

また、会議では、南三陸町で働く人が増えることを願い、「町の起業の種」や「町にあったら良いと思う仕事」を検討し、アイデア集としてまとめました。



## 《 提 案 》

■町民と行政が一丸となり、町ぐるみで取り組んでいくこととして、以下を提案します。

### ＜Uターン・Iターンする人を増やすために町ぐるみで取り組む＞

東日本大震災後、住まいだけでなく雇用の場も限られることから町外に出られた方がいます。その方たちが改めて故郷「南三陸」の魅力に気づき、Uターンしやすくなる取り組みを提案します。

また、復興を応援していただいている方をはじめ、多くの町外に住まわれている方が南三陸町のことを気にかけてくれています。その方たちが南三陸町を気に入っていただき、町内で働き、定住していただけるような、「心地よい町」を目指す取り組みを提案します。

### ＜提案1＞南三陸町での当たり前を育み、町の良さを町内外に紹介する。

南三陸町では当たり前のことが、他から見れば素晴らしいこと（例えば、お茶っこのみやお裾分けの文化、海里山が身近にある自然、旬の海の幸・山の幸など）を見直して、町の良さを育み、町内外に紹介する。（行政の広報や町民の口コミで実施）

### ＜提案2＞震災で培った恩返しの精神とおもてなしの心を磨き、働きたい町にする。

町民の持つ「震災で培った恩返しの精神」、「もともとあった人あたりの良さとおもてなしの心」をどこの地域よりも磨き、「新たにこの町に住んでみたい、働いてみたい」と一番先に思われる環境を作る。

（町民主体で実施）



### ＜提案3＞南三陸町に興味を持っている町外の人々、若者の誘致、たとえば、協力隊...

南三陸町は延べ14万人のボランティアに復興を応援していただいております。町外の方々に支援していただける力の大きさ、大切さ、ありがたさを実感しています。また、多くの町内外の個人・団体が地域づくりに活動されていることに加え、復興応援隊として活動されている方も観光振興などに活躍されている。引き続きこの応援隊などの力をお借りするとともに、総務省の「地域おこし協力隊制度」も活用して、南三陸町に興味を持っている町外の人々や若者の誘致に力を入れ、その受け入れ体制づくりを進める。

（行政主体で実施）

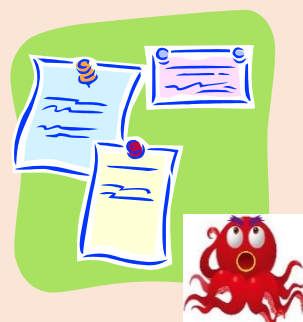
### <町民発の小さな仕事を増やす・求職と求人のミスマッチを解消する>

東日本大震災後3年10ヶ月が経過し、求人は増加しつつありますが、就職率は高くなっていません。この大きな理由として、希望する職種や希望する時間で働ける所が見つからないという、求職と求人のミスマッチが存在すると思います。そのため、町民が主体となり、きめこまかに仕事の情報を交換できる場を作ることを提案します。

#### <提案4>気軽に仕事の情報交換ができる掲示板を置く。

「ちょっとした仕事になること」、「私はこの仕事ができます」などの情報交換ができるように、「タコの手センター」と名付ける掲示板を、町内の商店街やカフェの一角に置く。

※「猫の手を借りたい」気持ちを8本の手を持つ南三陸のタコに託し、「タコの手センター」にした。（町民主体で実施）



#### <提案5>町内外の人にアイデア集を活用してもらう。

南三陸町の「起業の種」と「必要な仕事」を集めたアイデア集を、広く町内外に紹介して、起業や就業する際の参考に活用してもらう。

（町のホームページや町民の口コミなどで実施）



### <おわりに>

南三陸町で働く人を増やすためには、誰にでも分かるように、これらの提案をもとにした取り組みにストーリーを持たせ、内容を発信し、町民や関係者の啓発に取り組んでいくことが重要と考えます。これまで当会議で提案したことについては、当会議終了後も実現に向けて取り組んでいただき、また、当会議の委員がその後の状況（取り組み結果）がわかるように情報発信していただくようお願いします。